

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
 TEL: 03-3259-3111(代表)
 www.ms-ins.com

2015年7月13日

～自然災害時の訪日外国人旅行者や留学生の避難行動をサポート～

スマートフォン向けアプリ「スマ保 災害時ナビ」外国語版を開発

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：柄澤 康喜）は、7月17日から、自然災害が発生した際の避難行動をサポートするスマートフォンアプリ「スマ保 災害時ナビ」の外国語版（英語、中国語、韓国語）の提供を開始します。

「スマ保」は、「保険をてのひらに。」をコンセプトとする当社独自のアプリで、2012年8月のサービス開始以来、シリーズ累計のダウンロード数は50万件を超えました。さまざまな機能を搭載していますが、中でも「スマ保 災害時ナビ」は、地震等の自然災害時に現地周辺の避難場所を地図上に表示したり、カメラ機能で避難所まで誘導するなど、災害時の安心・安全な行動をサポートするサービスとして、お客さまからご好評をいただいています。

この度、外国人旅行者や留学生のニーズが高い本サービスの外国語版を提供することで、「外国人に優しい企業」として、近年増加する訪日外国人旅行者や留学生の安心と安全をサポートします。

当社では、今後もお客さまのニーズに応える商品・サービスの提供に努めていきます。

1. 開発の背景

近年、円安の進展や観光庁が推奨する訪日ビザ発給要件の緩和等により、2014年の訪日外国人旅行者数は前年比29.4%増の1,341万人に拡大しています。一方で、国内の受け入れ態勢はまだ十分ではなく、政府の日本再興戦略でも「訪日外国人旅行者の滞在環境の整備」が重要な課題の一つとして掲げられています。

また、2014年度の留学生の数も前年比2.7%増の約14万人に拡大しており、日本再興戦略では2020年に30万人を目指すとして掲げられています。

当社はこうした政策の方向性や社会環境の変化に合わせ、「外国人に優しい企業」として、近年増加する外国人旅行者や留学生に安心と安全を提供すべく、これまで提供してきた「スマ保 災害時ナビ」の外国語版を開発することとしました。

2. 「スマ保 災害時ナビ」多言語対応の概要

- (1) 開始時期：2015年7月17日（金）（※）
- (2) 対応言語：英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語
- (3) 対象OS：アンドロイド（Android：4.0以上）、
iPhone（iOS：7.0以上）
- (4) 対象者：当社のご契約者に限らずどなたでもご利用可能です。
- (5) 利用料：無料

※7月17日（金）からAndroid版をリリースしますが、iPhone版のリリースは、7月下旬の予定です。

**3. 今後の展開**

本サービスを多くの訪日外国人旅行者や留学生にご利用いただくために、対応言語ごとにQRコード付きのチラシを作成するほか、各自治体等との連携による外国人旅行者への情報発信の検討や、成田国際空港が運営する訪日外国人向けアプリ「TABIMORI」との提携を予定しています。

また、英語、中国語および韓国語以外にも、対応言語の拡大を検討していきます。

以上

添付別紙：災害時ナビ外国語対応の機能について、多言語サービスの利用画面イメージ

1. 災害時ナビ外国語対応の機能について

(1) 避難所ガイド機能

GPSを利用して、現在地周辺の避難所等を地図上やカメラ機能で映し出した風景に表示し、目的の避難所までのルートを案内します。また、通信が遮断された場合や土地勘がなく地図が読めない場合でも、カメラ機能で映し出した風景に避難所や自宅の方向を表示することが可能です。

(2) 災害時ノウハウ集

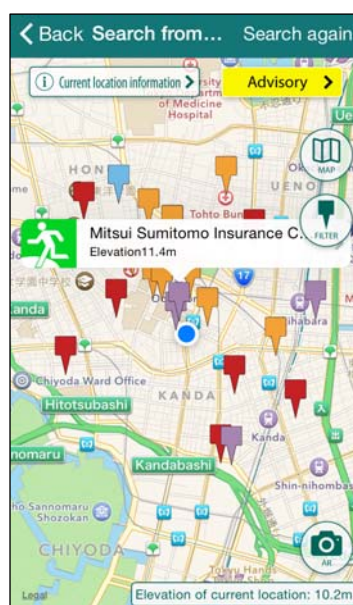
グループ会社のリスクコンサルティング会社「インターリスク総研」が監修した、災害に備えて事前に対策すべき内容や地震や洪水等の災害にあった際の心構え、取るべき行動等をまとめたノウハウ集を収録しています。

2. 多言語サービスの利用画面イメージ

(英語設定の場合)



<周辺の避難所情報>



<避難ルート案内>

(中国語設定の場合)



<周辺の避難所情報>



<避難ルート案内>